

Panasonic®

取扱説明書

iPad用リモートコントロールソフト

品番: **WR-DX350**

RAMSA



はじめに

商品概要

iPad®および無線LANを使用可能なネットワーク環境を用意することで、iPad用リモートコントロールソフト（以下、iPad用リモートソフト）からデジタルミキサー（WR-DX350以下、本体）の各種設定や操作を行うことができます。無線LANの通信範囲内であれば、調整室のみならず、場内にiPadを持ちだして、本体の操作を行うことができます。

取扱説明書について

- 本書はWR-DX350 iPad用リモートソフトの操作方法について記載しています。本体やPC用リモートコントロールソフト（以下、PC用リモートソフト）の機能に関する内容は、本体およびPC用リモートソフトの取扱説明書をお読みください。
- 本書の記載は、2020年11月現在のものです。
- iPadや無線ルーターの操作、設定については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

必要なiPadの環境

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つiPadで使用できます。

iPad	iPad Air2、9.7インチiPad、10.5インチ iPad Pro、11インチ iPad Pro、12.9インチ iPad Pro
OS	iOS9.2～12.x、iPadOS13以降
Wi-Fi	IEEE802.11ac推奨

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

登録商標・商標について

- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、PostScriptおよびPostScriptロゴは Adobe の商標です。
- Apple、iPad は、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

- iPad Air2、9.7インチiPad、10.5インチ iPad Pro、11インチ iPad Pro、12.9インチ iPad ProをiPadと表記しています。
- オーディオミキサー（WR-DX350）を本体と表記しています。
- オーディオインターフェースユニット（WR-SB350）をI/Oボックスと表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2020年11月現在のものです。最新の情報は、本製品をお買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

オープンソースソフトウェアについて

本ソフトウェアには、オープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。

オープンソースソフトウェアのライセンスや著作権に関する詳細は本ソフトウェアのメニュー画面で確認することができます。（37ページ）なお、オープンソースソフトウェアに関するご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

ネットワークに関するお願い

本ソフトウェアはネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1) 情報の漏えいや流出
- 2) 悪意を持った第三者による不正操作
- 3) 悪意を持った第三者による妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- インターネットに接続していない安全性の確保されたネットワーク上で使用する。
- コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、認証を利用し、パスワードは8文字以上かつ文字種類3種以上を使用するなどして、第三者に推測されないようにする。
- パスワードを第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- パスワードは、定期的に変更し、他のアカウント情報と同じものを使いまわさない。
- 本体の設定情報をネットワーク上に漏洩させないため、認証設定でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



メモ : 使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに	2
商品概要	2
取扱説明書について	2
必要なiPadの環境	2
著作権について	2
登録商標・商標について	2
略称について	3
オープンソースソフトウェアについて	3
ネットワークに関するお願い	3
記号について	3
共通操作	6
インストール・アンインストール	6
インストールのしかた	6
アンインストールのしかた	6
起動と終了	7
起動のしかた	7
終了のしかた	7
ネットワーク接続	8
Wi-Fi接続について	8
ネットワーク構成について	9
オンラインモードとオフラインモードについて	10
オンラインモード	10
オフラインモード	10
オンラインモードへの切り替え	10
オフラインモードの切り替え	11
本体の登録	12
基本操作	14
パラメーター調節ガイドについて	14
画面説明	15
画面構成	15
画面共通	16
マルチチャンネル画面	17
シングルチャンネル画面	20
メーター画面	29
信号処理機能の設定	30
HPF（ハイパスフィルター）の設定	30
イコライザー（PEQ）の設定	30
イコライザー（GEQ）の設定	31
RTAの設定	32
ダイナミクス設定	32
ダイナミックノッチの設定	34
リバーブの設定	34
ディレイの設定	36

もくじ

PAN/BALの設定	36
応用操作	37
メニュー画面	37
パターンメモリの活用	38
パターンを書き込む	38
パターンを呼び出す	39
ミュートグループの活用	40
複数のインプットチャンネルをミュートする (ミュートグループ)	40
アプリケーション設定	41
起動方法	42
オペレーションロック	42
レイヤーカスタマイズ	43
パスコード設定	43
認証設定	44
故障かな!?	45

共通操作

インストール・アンインストール

インストールのしかた

- 1 iPadから「App Store」にアクセスし、「RAMSA DX350（アプリケーションの名前）」を検索して、iPadにアプリケーションをインストールします。



インストールが完了したらホーム画面に「RAMSA DX350」のアイコンが表示されます。



- 使用許諾に同意しない場合、「RAMSA DX350」を使用することはできません。
-

アンインストールのしかた

- 1 ホーム画面の「RAMSA DX350」のアイコンをロングタップします。
画面内のアイコンが震えます。
- 2 「RAMSA DX350」アイコン左上に表示されている【×】スイッチをタップします。
「確認」画面が表示されます。
- 3 【削除】スイッチをタップします。
本ソフトウェアがアンインストールされます。

起動と終了

起動のしかた

- 1 ホーム画面上の「RAMSA DX350」アイコンをタップすることにより、本ソフトウェアが起動します。



本ソフトウェアが起動すると、「ミキサー選択」画面が表示されます。「ミキサー選択」画面でオンラインモードかオフラインモードを選択します。オンライン・オフラインについては「オンラインモードとオフラインモードについて」(10ページ)をお読みください。



- インストール後、初めて本ソフトウェアを起動したときに「使用許諾」画面が表示されます。「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は「同意する」スイッチをタップしてください。
-

終了のしかた

- 1 Appスイッチャーを開く
(iPadのホームボタンをダブルクリック)
- 2 本ソフトウェアを上をスワイプします。

ネットワーク接続

本ソフトウェアは本体とネットワーク接続することで本体の設定・制御を行うことができます。

Wi-Fi接続について

本ソフトウェアはWi-Fi経由でネットワーク上の本体に接続します。Wi-Fi アクセスポイントの設定はiPadの取扱説明書にしたがって設定してください。

外部からの不正アクセスを防ぐためにセキュリティ設定をすることをおすすめします。

ネットワーク環境について

本体のネットワーク・インタフェースに関する仕様は以下の通りです。

ネットワーク : 10Base-T/100Base-TX、RJ45 コネクター

対応プロトコル : IPv4 : TCP/IP、UDP/IP

本ソフトウェアでは同一ネットワーク上の本体を検索し、ネットワーク設定を行うことができます。

本体のネットワーク設定については「本体の登録」(12ページ)をお読みください。本体のネットワーク設定の初期値は以下の通りです。

項目	初期値
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0



- 本体と接続する場合、本体と本ソフトウェアは必ず同一ネットワークアドレス上に存在するようにネットワーク設定を行ってください。異なるネットワークアドレス上の本体に接続することはできません。
- 同一ネットワークアドレス上に同じIPアドレスの機器が存在すると正しく接続することができません。同一ネットワークアドレス上に複数の本体を接続する場合は、本体のIPアドレスを変更してください。



- 例えば、複数の本体を接続する場合、次のようにIPアドレス、サブネットマスクを設定することで、正しく接続することができます。

機器	IPアドレス	サブネットマスク
ミキサー1	192.168.1.10	255.255.255.0
ミキサー2	192.168.1.11	255.255.255.0
Wi-Fiルーター	192.168.1.20	255.255.255.0
PC (PC用リモートソフト)	192.168.1.21	255.255.255.0
iPad (本ソフトウェア)	192.168.1.22	255.255.255.0

ネットワーク構成について

システムを構成するネットワークは以下の2種類があります

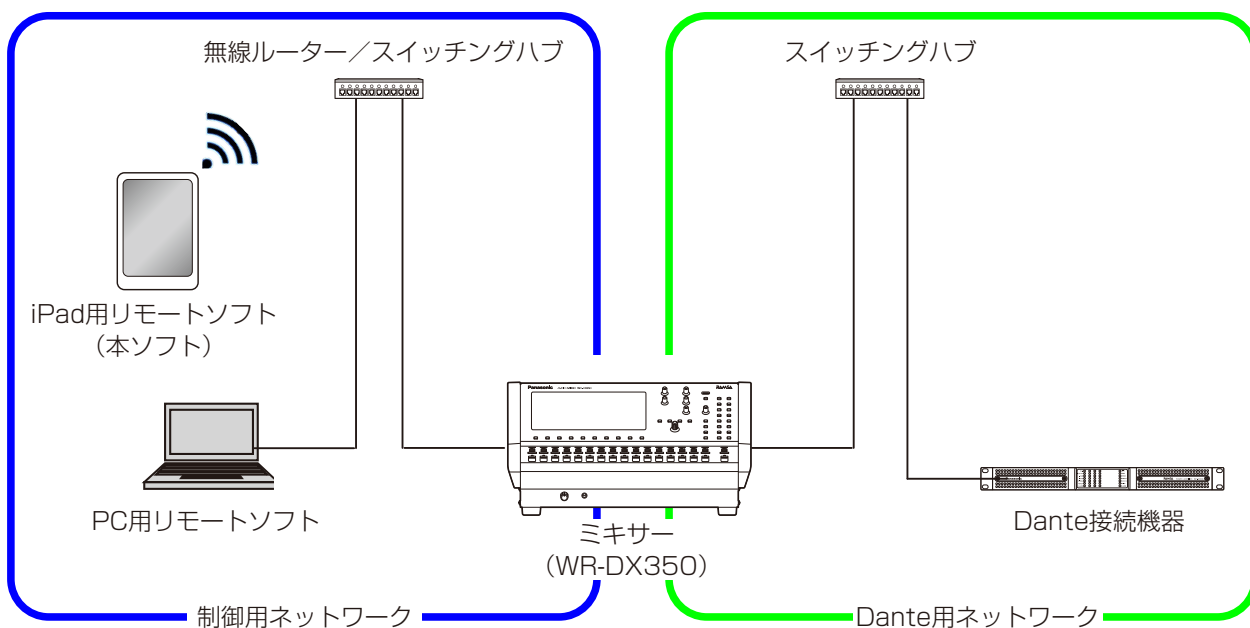
制御用ネットワーク : PC用/iPad用リモートソフトから本体を制御するためのネットワーク

Dante用ネットワーク : Dante機器同士を接続するためのネットワーク



- 制御用ネットワークとDante用ネットワークは必ず独立したネットワークを構築してください。同一ネットワーク上に共存させた場合は正しく動作しないことがあります。

<システム構成例>



- iPad用リモートソフトと本体を接続するには無線ルーターが必要です。外部からネットワークへの侵入を防ぐために、WPAのようなセキュリティ設定をお願い致します。
- iPadのIPアドレスは、本体と同じサブネットが設定されていることを確認してください。
- 同時に本体と接続できるリモートソフトはiPad用、PC用の組み合わせによらず2台までです。
- 本ソフトウェアは登録された最大5台の本体を切り替えて接続することが可能です。

オンラインモードとオフラインモードについて

本ソフトウェアは、本体との接続状態により、オンラインモードとオフラインモードの2種類の状態があります。

オンラインモードとオフラインモードの切り替えは起動時、あるいは「メニュー」画面から行います。「メニュー」画面については37ページをお読みください。

オンラインモード

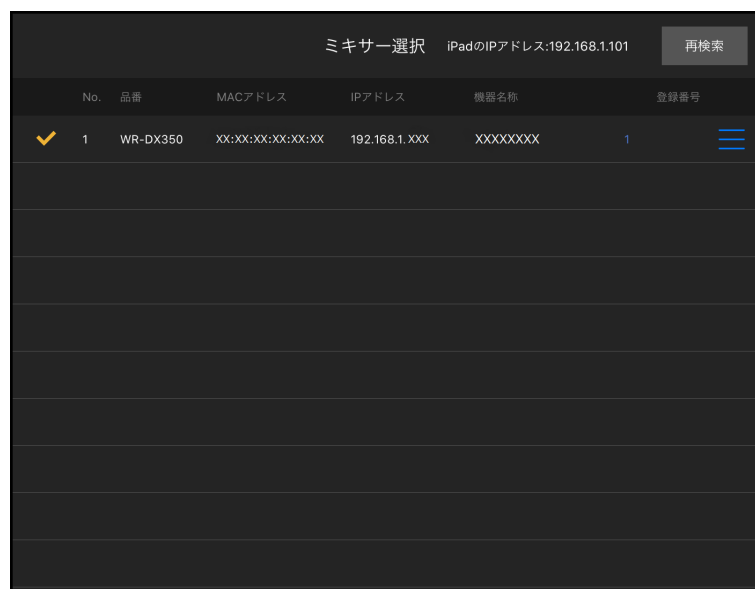
- オンラインモードでは、本体と接続し、本体の操作を本ソフトウェアから行うことができます。

オフラインモード

- オフラインモードでは、本体と接続せずに本ソフトウェアを操作することができます（デモ操作）。操作した内容は本体には反映できません。
- オフラインモードでは、工場出荷状態の初期設定値で起動します。

オンラインモードへの切り替え

- 1 オンライン切り替え操作を行うと、同一ネットワーク上にある本体を検索し、下記の「ミキサー選択」画面が表示されます。



- 2 接続する本体の行を、タップします。タップをすると、選択された本体番号（No.）の横にチェックマークが表示されます。

- 3 [接続] スイッチをタップすると、「パスワード入力」画面が表示されます。

共通操作



- 初回接続時は本体のパスワードを設定する画面を表示します。
パスワードは大文字、小文字、数字、記号から8文字以上、16文字以下で3種類以上組み合わせて設定してください。

4 設定したパスワードを入力することで本体に接続することができます



- 本体の識別は、本体に貼られているMACアドレスで識別が可能です。
- パスワードをお忘れの場合、本体を初期化してパスワードを再設定してください。初期化の設定については本体の取扱説明書をお読みください。

オフラインモードの切り替え

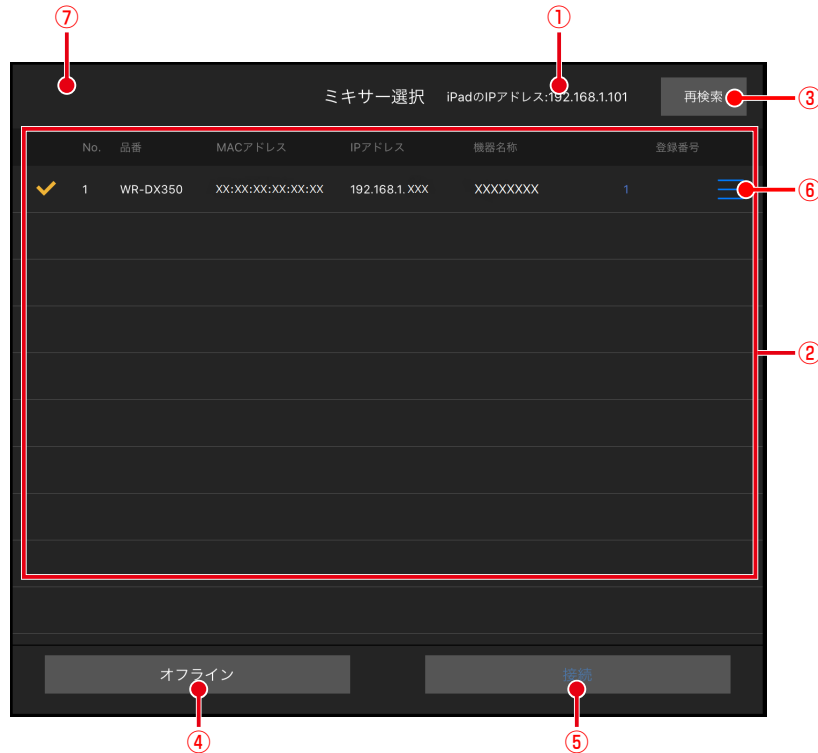
1 オフライン切り替え操作を行うと、「オフライン（デモ操作）」画面が表示されます。



2 [オフライン] スイッチをタップすると、本ソフトウェアがオフラインモードで起動します。

本体の登録

本ソフトウェアで操作する本体を登録します。未登録の状態でも操作することも可能です。本体の登録は「ミキサー選択」画面で行います。



- ①. iPadのIPアドレス表示
iPadのIPアドレスが表示されます。
- ②. 検出・登録機器一覧表示
検出したWR-DX350を一覧表示します。表示される内容は以下の通りです。

品番	本体の品番が表示されます。
MACアドレス	本体のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	本体のIPアドレスが表示されます。
機器名称	本ソフトの制御対象として登録されている場合、登録された本体の名称を表示します。
登録番号	本ソフトの制御対象として登録されている場合、登録された本体の登録番号（1～5）を表示します。 本ソフトの制御対象として登録されているが、ネットワーク上で検出されなかった本体は登録番号の後に「(未検出)」を付加して情報表示します。 未登録の本体は、「未登録」と表示します。

- ③. 再検索スイッチ [再検索]
ネットワークに接続されている本体を再検索します。
- ④. オフラインスイッチ [オフライン]
オフラインモードで、本ソフトウェアを動作させます。
[オフライン] スイッチは本ソフトウェア起動時の「ミキサー選択」画面に表示されます。
- ⑤. 接続スイッチ [接続]
選択したミキサーに接続を行います。
- ⑥. 登録スイッチ
「☰」をタップすると、「ミキサー登録設定・登録」画面を表示し、選択した本体の設定・登録を行います。
- ⑦. キャンセルスイッチ [Cancel]
「ミキサー選択」画面を閉じます。[Cancel] スイッチは「メニュー」画面の [オンライン] スイッチから表示した「ミキサー選択」画面に表示されます。

共通操作

以下に、本体の登録方法を説明します。

1 登録を行いたい本体の右端にある「」をタップします。

「ミキサー登録－設定・登録」画面が表示されます。



- 本ソフトウェアが接続中の本体を登録することはできません。

2 ピッカーで登録番号を設定し、機器名称を入力します。



- 機器名称を入力しないと登録することはできません。
- 機器名称は最大8文字まで入力することができます。

3 [OK] スイッチをタップします。

選択した本体が設定した登録番号で登録されます。

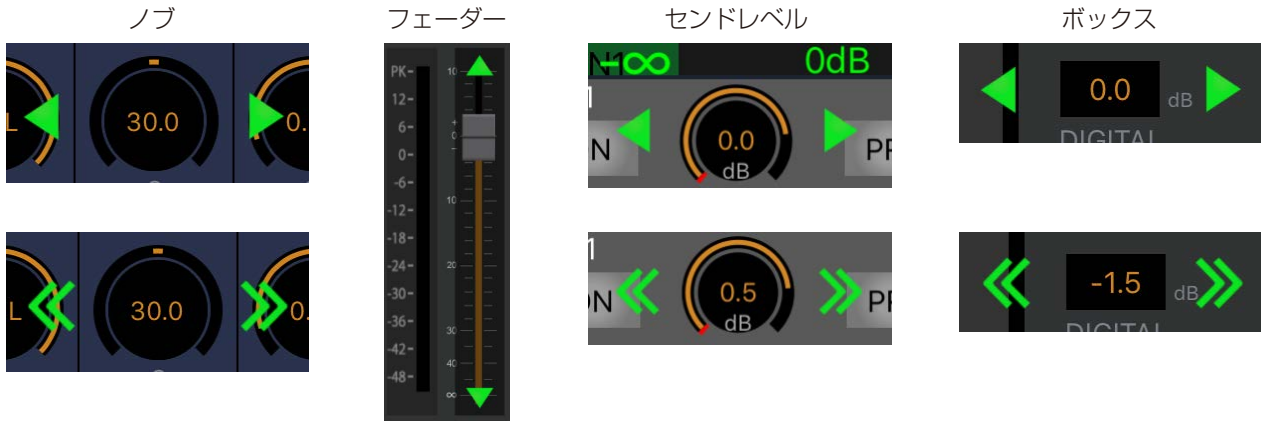


- 「ミキサー登録－設定・登録」画面で、本体のネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク）と機器名称の設定を行うことができます。
- 起動方法の設定（42ページ）で事前に接続する本体を登録しておくと、本ソフトウェア起動時に自動的に本体に接続することができます。

基本操作

パラメーター調節ガイドについて

パラメーター値をタップあるいはロングタップするとパラメーター調節を補助する緑色のガイドが表示されます。このガイドを操作して、パラメーター値を調節することができます。

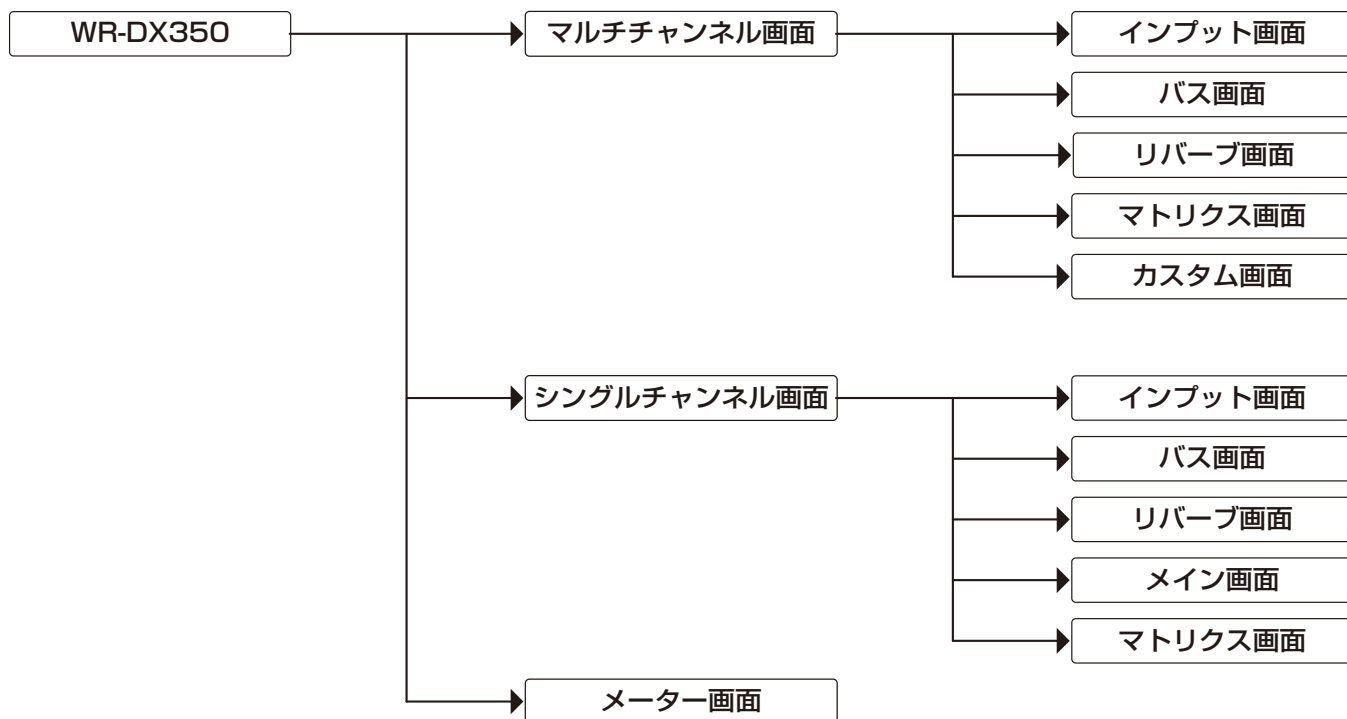


No.	操作子	ガイド	説明
1	ノブ	◀、▶	パラメーター値をタップすると表示されます。 ガイドをタップするとパラメーターを1刻みずつ変更することができます。
		«、»	パラメーター値をロングタップすると表示されます。 ロングタップしたまま左右にドラッグするとパラメーターを移動量に応じて変更することができます。
2	フェーダー	▲、▼	フェーダーレベル表示をタップすると表示されます。 ガイドをタップするとフェーダーを1刻みずつ変更することができます。
		◀、▶、-∞、0dB	パラメーター値をタップすると表示されます。 [◀]、[▶] のガイドをタップするとセンドレベルを1刻みずつ変更することができます。 [-∞] をタップするとセンドレベルを [inf] に、[0dB] をタップするとセンドレベルを [0dB] に設定することができます。
3	センドレベル (アサイン)	◀、▶	パラメーター値をタップすると表示されます。 ガイドをタップするとパラメーターを1刻みずつ変更することができます。
		«、»	パラメーター値をロングタップすると表示されます。 ロングタップしたまま左右にドラッグするとパラメーターを移動量に応じて変更することができます。
4	ボックス	◀、▶	パラメーター値をタップすると表示されます。 ガイドをタップするとパラメーターを1刻みずつ変更することができます。
		«、»	パラメーター値をロングタップすると表示されます。 ロングタップしたまま左右にドラッグするとパラメーターを移動量に応じて変更することができます。

画面説明

ここでは各画面について説明します。

画面構成



画面	画面概要説明
MULTI画面 (マルチチャンネル画面)	8チャンネルのチャンネルストリップを横並びに表示し、各チャンネルの設定状態を表示する画面です。
SINGLE画面 (シングルチャンネル画面)	1チャンネル分の設定を表示し、イコライザーやダイナミクスなどの機能を設定する画面です。
METER画面	全チャンネルのレベルメーターを一括表示する画面です。

画面共通

各画面で共通する内容について説明します。



- ①. ステータスバー**
ステータスバーには、iPadの現在の使用環境に関する情報が表示されます。
- ②. 画面切り替えタブ [MULTI] [SINGLE] [METER]**
表示する画面を切り替えます。
MULTIタブ : 「マルチチャンネル」画面
SINGLEタブ : 「シングルチャンネル」画面
METERタブ : 「メーター」画面
- ③. 通信状態表示**
本体との通信状態を表示します。
OFFLINE : 本体切断中 (オフラインモード)
ONLINE : 本体接続中 (オンラインモード)
- ④. ミュートグループの状態表示 [1] ~ [8]**
ミュートグループ1~8のミュート状態を表示します。
橙色 : ミュートON
黒色 : ミュートOFF
- ⑤. ミュートグループスイッチ [MUTE GROUP]**
スイッチをタップすることにより、「MUTE GROUP」画面を表示します。(40ページ)
- ⑥. マニュアルスイッチ [MANUAL]**
ONにすると該当チャンネルのパラメーターが、パターンリードの実行およびミュートグループマスター、フェーダーグループマスターによる制御を受け付けなくなります。
橙色 : ON
灰色 : OFF
- ⑦. パターン番号表示 [PATTERN NO]**
運用中のパターンメモリー番号を表示します。
番号をタップすると、「パターンメモリーリード」画面を表示します。(39ページ)
- ⑧. メニュースイッチ [MENU]**
スイッチをタップすることにより、「メニュー」画面を表示します。(37ページ)

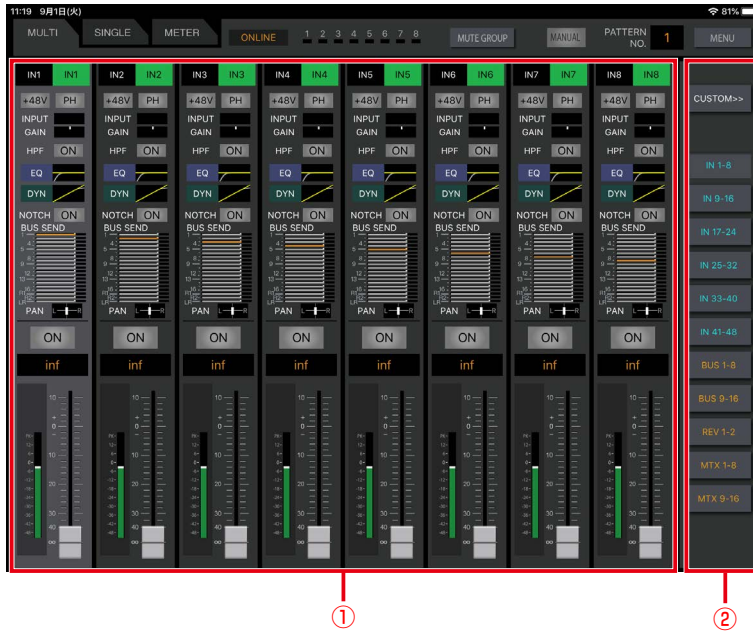
マルチチャンネル画面

「マルチチャンネル」画面を表示するには [MULTI] タブをタップします。「マルチチャンネル」画面では、8チャンネル分のチャンネルストリップの設定状態を確認することができます。

「マルチチャンネル」画面では、チャンネルを選択するとチャンネルの背景色が変わります（アクティブチャンネル）。



- 画面切替タブで「マルチチャンネル」画面から「シングルチャンネル」画面へ切り替えると、アクティブチャンネルを「シングルチャンネル」画面で表示します。



①. チャンネル表示領域

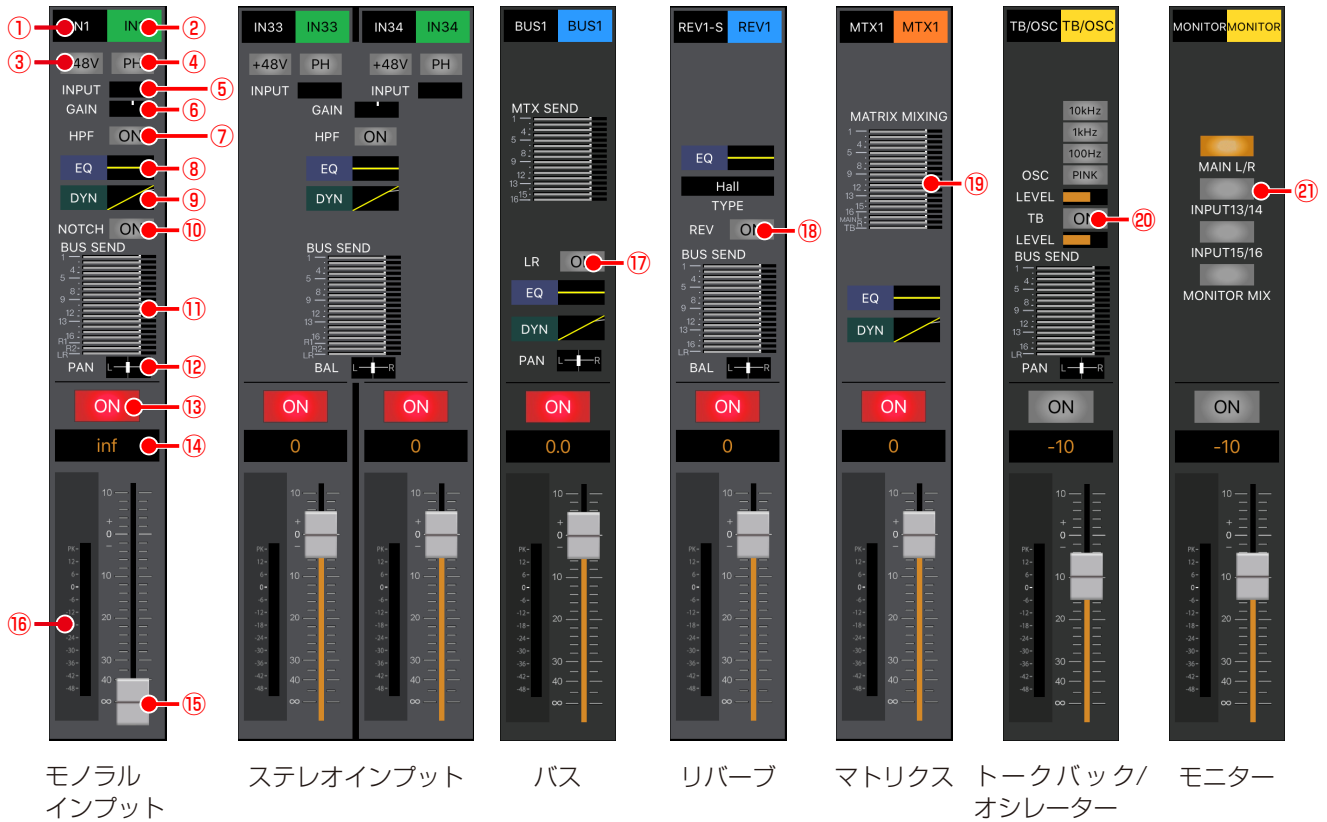
8チャンネル分のチャンネルストリップを表示し、各チャンネルの設定状態を表示します。チャンネルストリップ内の機能コンポーネントをタップすると「シングルチャンネル」画面を表示します。

②. レイヤー選択スイッチ領域

レイヤー選択スイッチをタップするとチャンネル表示領域に表示されるチャンネルが切り替わります。[カスタムレイヤー] スイッチをタップすると、あらかじめカスタムレイヤーに登録したチャンネルのみを表示することができます。カスタムレイヤーは本体で設定します。カスタムレイヤーの設定については本体の取扱説明書をお読みください。

チャンネルストリップ

1チャンネル分の各種機能の設定状態を表示します。チャンネル種別により、表示される機能が異なります。



①. チャンネル番号表示

各チャンネルストリップで表示しているチャンネル種別とチャンネル番号を表示します。チャンネル種別により、下表のように表示します。

チャンネル種別	表示内容	チャンネル番号表示
インプット	IN [Ch番号]	Ch番号：1～48
リバーブ	REV [Ch番号] -S REV [Ch番号] -R	Ch番号：1、2
バス	BUS [Ch番号]	Ch番号：1～16
TB/OSC	TB/OSC	-
マトリクス	MTX [Ch番号]	Ch番号：1～16
モニター	MONITOR	-

②. チャンネルラベル表示

本体またはPC用リモートソフトで登録したチャンネルラベルを表示します。チャンネルラベルの登録については本体またはPC用リモートソフトの取扱説明書をお読みください。

③. ファンタム電源表示 [+48V]

ファンタム電源の設定状態を表示します。
 橙色：ON
 灰色：OFF

④. フェイズ表示 [PH]

フェイズ（位相反転）スイッチの設定状態を表示します。インプットチャンネルのみ表示されます。
 橙色：ON (INVERSE)
 灰色：OFF (NORMAL)

⑤. インプットトリム表示 [INPUT]

インプットトリムの状態を表示します。

⑥. デジタルゲイン表示 [GAIN]

デジタルゲインの設定状態を表示します。センターを基準に橙色のバーで設定値を表示します。インプットチャンネルのみ表示されます。

⑦. HPF表示 [HPF]

HPFの設定状態を表示します。インプットチャンネルのみ表示されます。HPFの使いかたは30ページをお読みください。

橙色：ON
 灰色：OFF

⑧. イコライザーグラフ [EQ]

イコライザーの周波数特性を表示します。

⑨. ダイナミクスグラフ [DYN]

ダイナミクスの入出力特性を表示します。

⑩. ダイナミックノッチ表示 [NOTCH]

ダイナミックノッチスイッチの設定状態を表示します。本体でダイナミックノッチを設定したchのみ表示されます。
 橙色：ON
 灰色：OFF

⑪. バスアサイン送出レベル表示 [BUS SEND]

送り出し先バスチャンネルへの送出レベルをメーター表示します。チャンネル種別がインプット、リバーブ、トークバック/オシレーターの場合に表示します。
 橙色：バスアサイン設定がON
 灰色：バスアサイン設定がOFF
 MAIN L・Rの場合は、アサインON設定時の送出レベルは、0 dB固定となります。

基本操作

⑫. PAN/BALレベル [PAN/BAL]

チャンネルのパンレベル（ステレオチャンネルのときはバランスレベル）をバーで表示します。

白色 : レベル設定がC

橙色 : レベル設定がC以外

左端がL16、右端がR16です。チャンネル種別が、インプット、リバーブ、バスの場合に表示します。

⑬. チャンネルスイッチ [ON]

チャンネル音声出力のON/OFFを設定します。ミュートグループに所属している場合はミュートグループの実行状態によってもスイッチの状態が変化します。

赤色 : ON

灰色 : OFF

⑭. フェーダーレベル表示

現在のフェーダーレベル値が表示されます。

タップするとフェーダーレベル調整用のガイドが表示されます。

設定範囲 : Inf、-138 dB ~ +10 dB

⑮. フェーダー

フェーダーをドラッグしてフェーダーレベルを調整します。ステレオチャンネルの場合は、Lch、Rchのフェーダーが連動します。

⑯. レベルメーター

接続している本体の音声信号のレベルを表示します。

⑰. MAIN L・Rアサイン表示 [LR]

バスからMAIN L・Rへのアサイン設定を表示します。チャンネル種別がバスの場合に表示します。

橙色 : ON

灰色 : OFF

⑱. リバーブ表示 [REV] [TYPE]

リバーブのタイプとON/OFF状態を表示します。チャンネル種別が、リバーブの場合に表示します。

⑲. マトリクスミキシング表示 [MIX]

マトリクスチャンネルへのミキシングレベルをメーター表示します。チャンネル種別が、バス、マトリクスの場合に表示します。

橙色 : ミキシング設定がON

灰色 : ミキシング設定がOFF

⑳. トークバック/オシレーター表示 [TB] [OSC]

トークバック/オシレーターの状態およびレベル表示を行います。本体のカスタムレイヤーで設定された場合に表示されます。

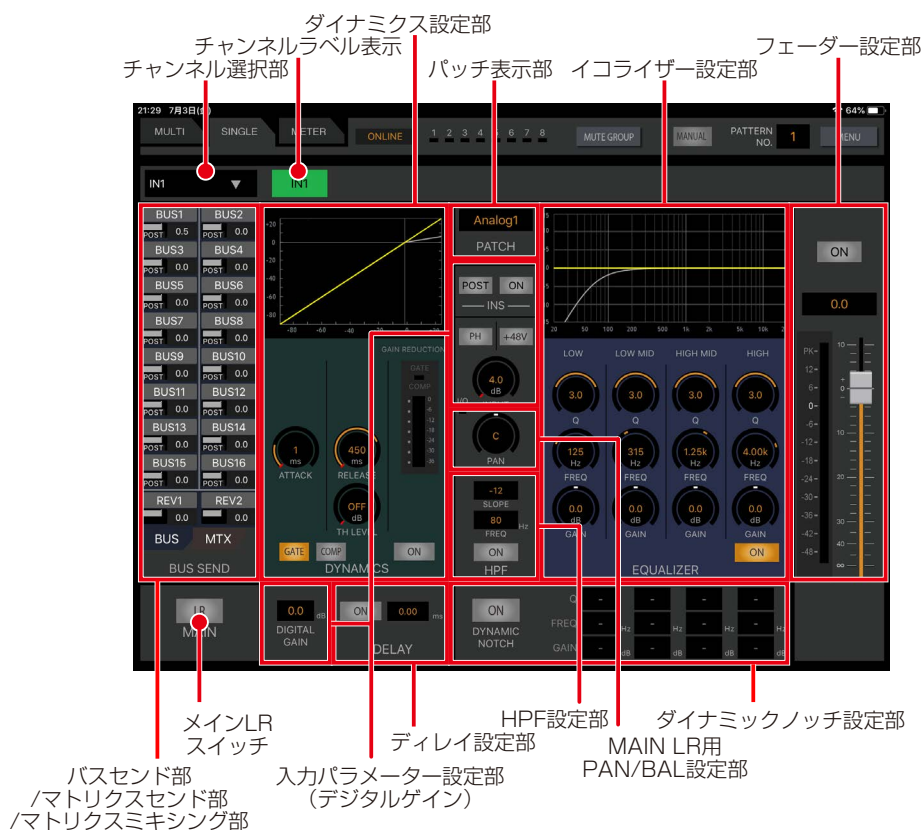
㉑. モニター表示 [MAIN L/R] [INPUT13/14] [INPUT15/16] [MONITOR MIX]

本体のモニター設定を表示します。本体のカスタムレイヤーで設定された場合に表示されます。

シングルチャンネル画面

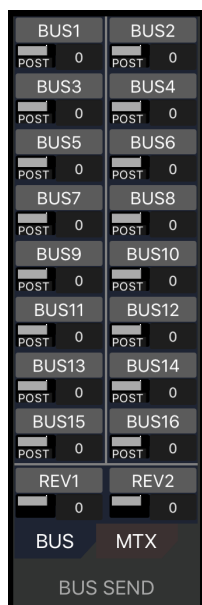
「シングルチャンネル」画面を表示するには [SINGLE] タブをタップします。「シングルチャンネル」画面では、選択したチャンネルの設定状態を確認・設定することができます。

インプット画面

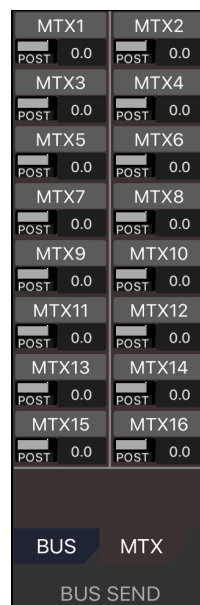


「シングルチャンネル」画面左部は [BUS] / [MATRIX] タブをタップすることで切り替わります。

BUSタブ選択時



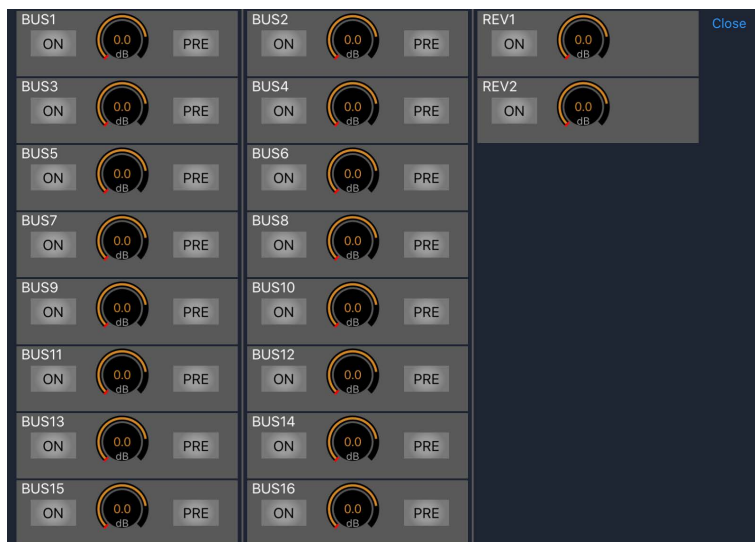
MATRIXタブ選択時



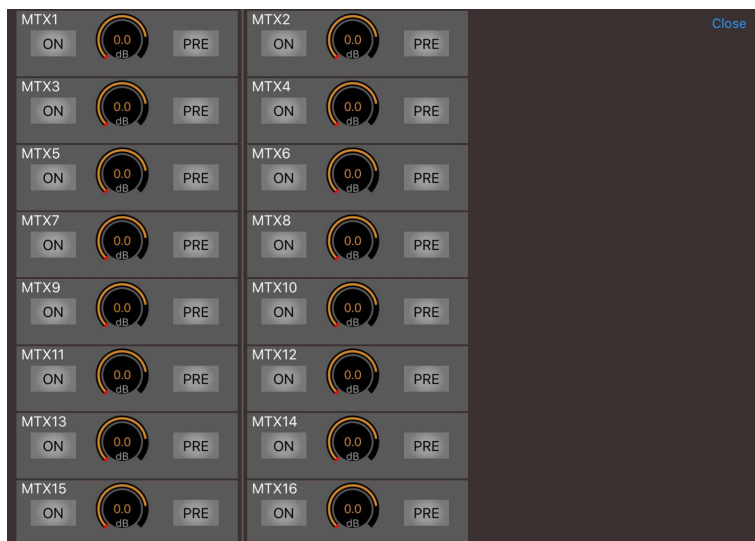
基本操作

また、インプットチャンネル選択時に「バスセンド部／マトリクスセンド部／マトリクスミキシング部」をタップすると、「バスセンド」画面、「マトリクスセンド」画面を表示します。

バスセンド画面



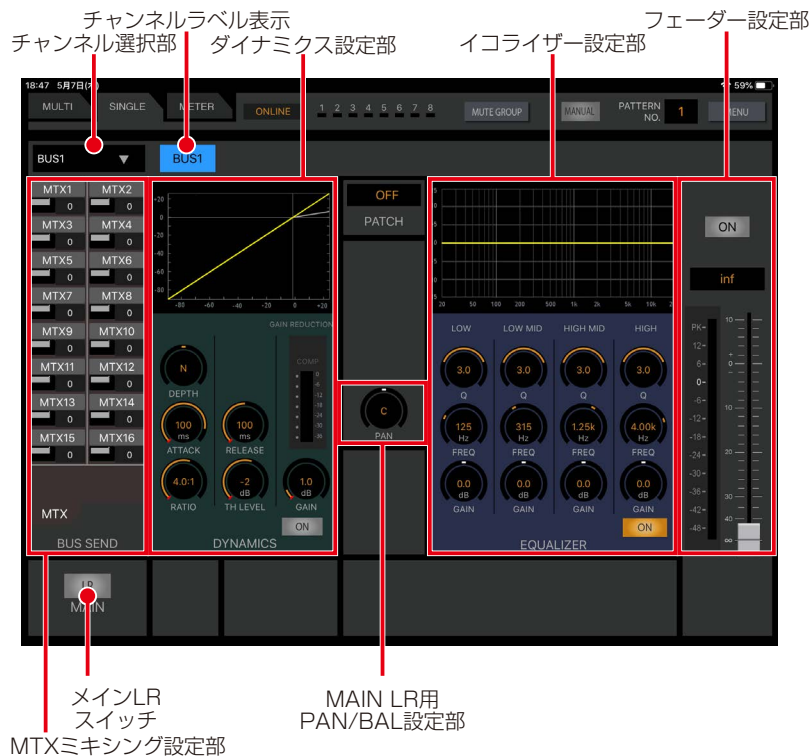
マトリクスセンド画面



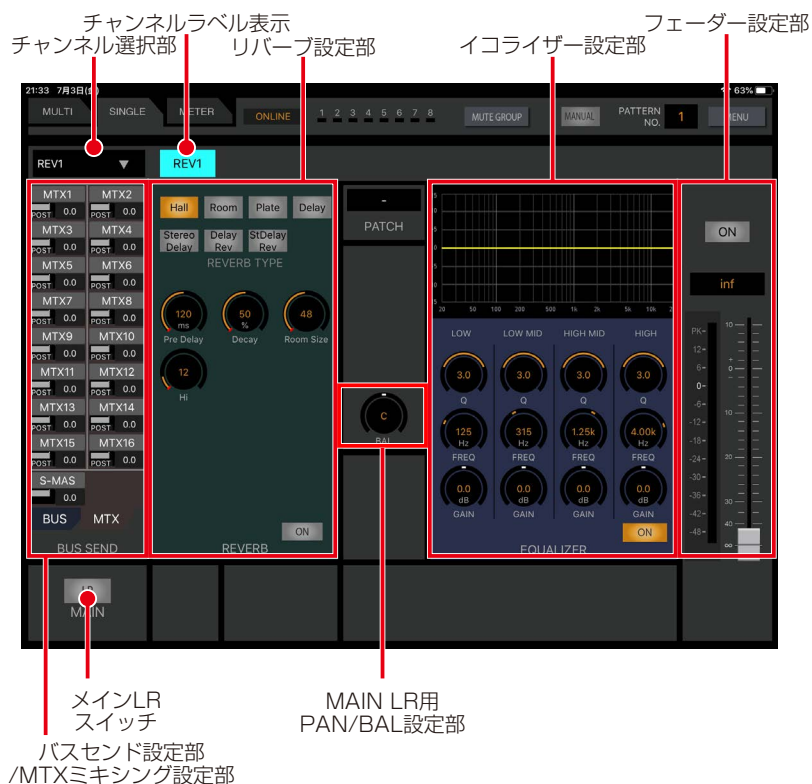
- マトリクスチャンネル選択時は、バス/MAN LRからの信号をミキシングする「マトリクスミキシング」画面を表示します。
- バスチャンネル選択時は、「マトリクスセンド」画面を表示します。

基本操作

バス画面

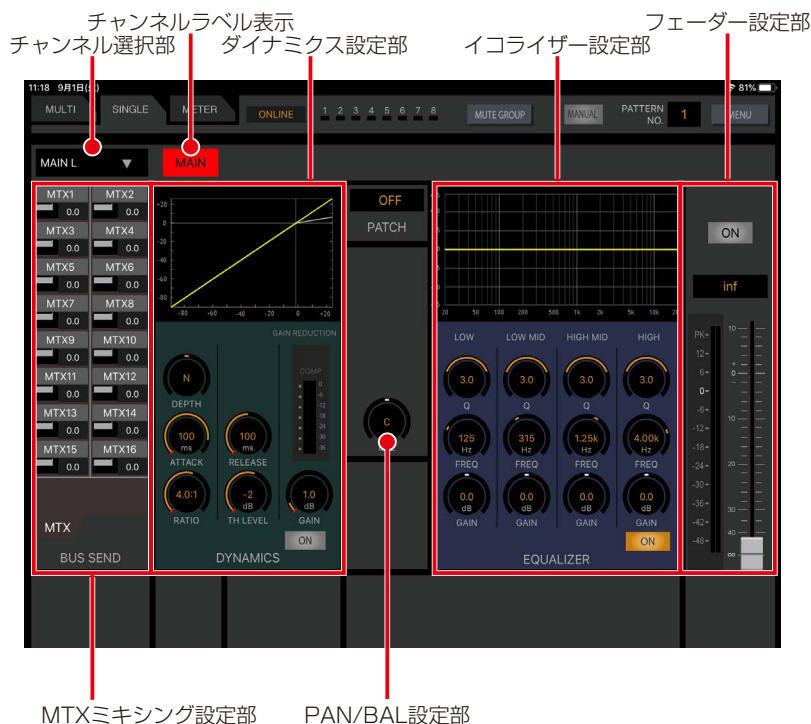


リバーブ画面

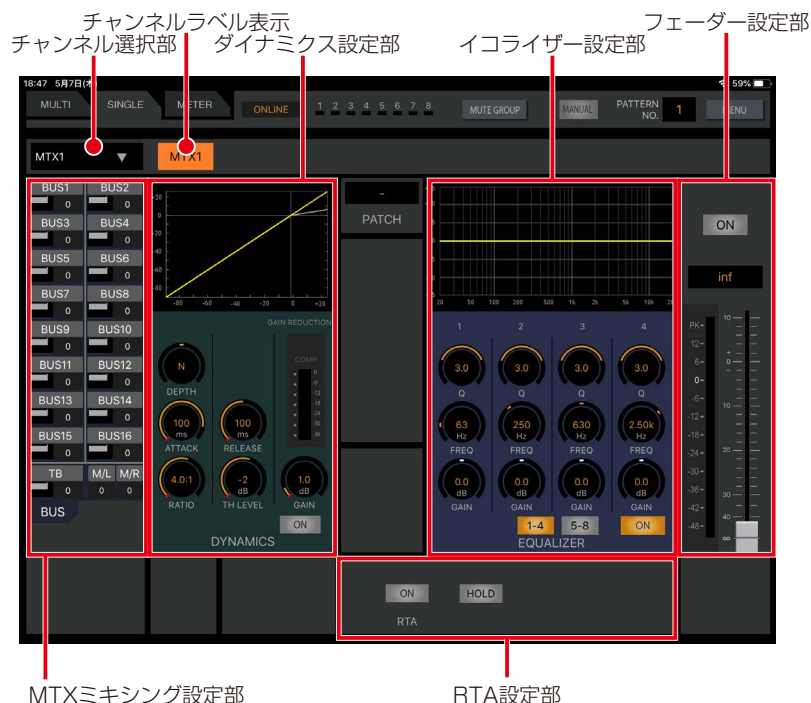


基本操作

メイン画面



マトリクス画面



- 以下の操作部に関する内容は「信号処理機能の設定」をご覧ください。
- | | |
|--------------|----------------------|
| ダイナミクス設定部 | ダイナミクスの設定 (32ページ) |
| イコライザー設定部 | イコライザーの設定 (30ページ) |
| ダイナミックノッチ設定部 | ダイナミックノッチの設定 (34ページ) |
| リバーブ設定部 | リバーブの設定 (34ページ) |
| HPF設定部 | HPFの設定 (30ページ) |
| PAN/BAL設定部 | PAN/BALの設定 (36ページ) |
| RTA設定部 | RTAの設定 (32ページ) |

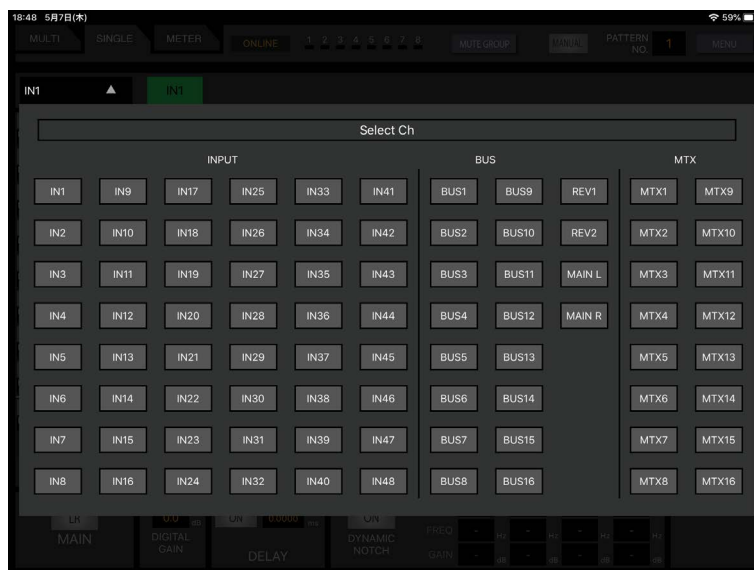
基本操作

チャンネル選択部

「シングルチャンネル」画面で表示するチャンネルを選択することができます。

①. チャンネル種別選択部

表示されているチャンネルの種類を表示します。また、[▼] をタップすると「チャンネル選択」画面が表示され、「シングルチャンネル」画面で表示するチャンネルを選択することができます。
チャンネルの選択をキャンセルする場合は、[▲] スイッチをタップします。



選択可能なチャンネルは以下の通りです。

チャンネル種別	表示内容	チャンネル番号表示
インプット	IN [Ch番号]	1～48
バス	BUS [Ch番号]	1～16
	MAIN L、MAIN R	-
	REV1、REV2	-
マトリクス	MTX [Ch番号]	1～16

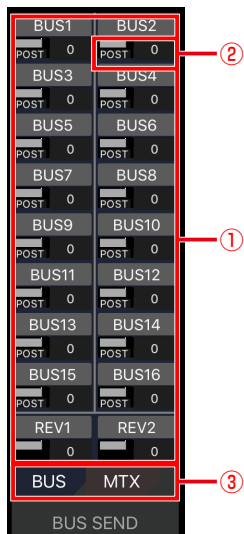
バスセンド／マトリクスミキシングアサイン設定部

バスセンド部／マトリクスミキシング部ではチャンネルのアサインを行います。

バスセンド部はインプットチャンネルおよびリバーブチャンネル、マトリクスミキシング部はインプットチャンネル、リバーブチャンネル、MAIN LRチャンネルおよびバスチャンネルで表示されます。

バスセンド部

インプットチャンネルおよびリバーブチャンネル選択時に表示され、バスへのアサインを設定します。



①. **バス センドスイッチ [BUS1] … [BUS16] [REV1] [REV2]**

送り出し先のバスチャンネル（バス1～16）へのアサインON/OFFを表示します。送りが有効なバスチャンネルは橙色に点灯します。バスセンド部をタップすると、「バスセンド」画面を表示します。バスがステレオ設定の場合は隣接するバスアサインスイッチと設定が連動します。

橙色 : ON
灰色 : OFF

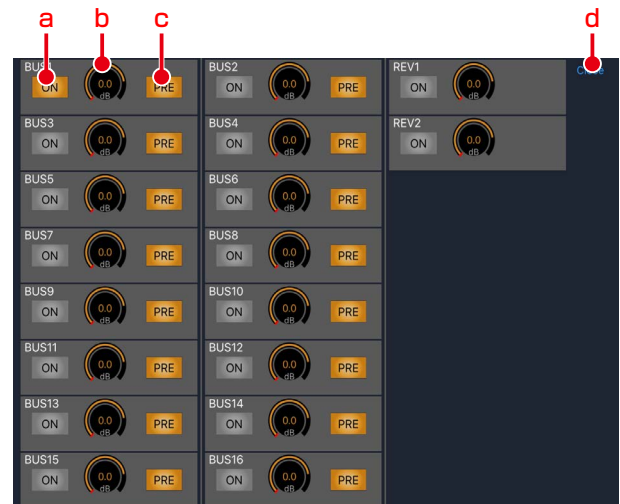
②. **バスセンドレベル、PAN/BALレベル表示**

送り出し先のバスがモノラルの場合、バスへのセンドレベルを表示します。

送り出し先のバスがステレオの場合、奇数チャンネルにはバスへのセンドレベルを表示し、偶数チャンネルにはPAN/BALレベルを表示します。

③. **バスセンド/マトリクスミキシング切り替えタブ**

インプットチャンネルおよびリバーブチャンネル選択時に表示されます。タブをタップしてバスセンド設定とマトリクスミキシング設定を切り替えます。



a. **ONスイッチ [ON]**

タップするとバス1～16、REV1、REV2への送りを有効にすることができます。有効（ON）の時、点灯します。

橙色 : ON
灰色 : OFF

b. **センドレベルノブ [SEND LEVEL] [dB]**

センドレベルの設定値あるいはPAN/BAL の設定値を表示します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、センドレベル、PAN/BAL レベルを調節することができます。PAN/BALレベルは、送り出し先のバスがステレオの場合に偶数チャンネルに表示されます。

c. **プリフェーダースイッチ [PRE]**

タップすると、バス1～16への出力位置をプリフェーダー/ポストフェーダーに切り替えることができます。スイッチが点灯(ON)のとき、プリフェーダーになります。リバーブチャンネル時には表示を行いません。

橙色 : プリフェーダー
灰色 : ポストフェーダー

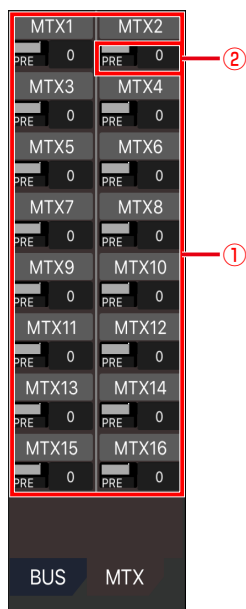
d. **Closeスイッチ [Close]**

バスセンドタブを閉じます。

基本操作

マトリクスミキシング部

入力チャンネル、リバーブチャンネル、MAIN LRチャンネル、およびバスチャンネル選択時に表示され、マトリクスに出力する入力のアサイン設定を行うことができます。入力、ミキシングバス、MAIN LRからマトリクスへの送りのON/OFFを切り替えます。



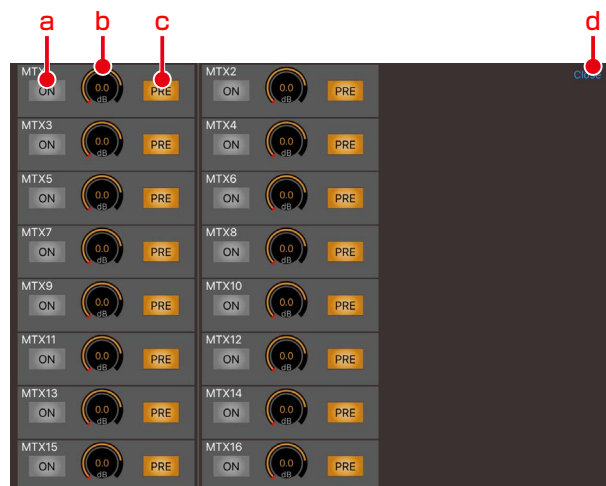
①. マトリクスセンドスイッチ [MTX1] … [MTX16]

送り出し先のマトリクスチャンネル（バス1～16）へのアサインON/OFFを表示します。送りが有効なマトリクスチャンネルは橙色に点灯します。マトリクスミキシング部をタップすると、「マトリクスセンド」画面を表示します。

橙色 : ON
灰色 : OFF

②. センドレベル表示

送り出し元チャンネルからマトリクスチャンネルへのセンドレベルを表示します。



a. ONスイッチ [ON]

タップするとマトリクス1～16への送りを有効にすることができます。有効（ON）の時、点灯します。

橙色 : ON

灰色 : OFF

b. センドレベルノブ [SEND LEVEL] [dB]

センドレベルの設定値を表示します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、センドレベルを調節することができます。

c. プリフェーダースイッチ [PRE]

タップすると、マトリクス1～16への出力位置をプリフェーダー/ポストフェーダーに切り替えることができます。スイッチが点灯（ON）のとき、プリフェーダーになります。入力チャンネルを選択時のみ表示します。

橙色 : プリフェーダー

灰色 : ポストフェーダー

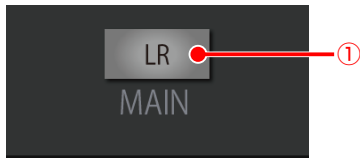
d. Closeスイッチ [Close]

マトリクスセンドタブを閉じます。



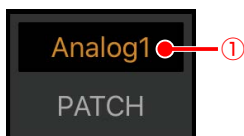
- マトリクスチャンネルでは、各バスからのアサインの表示、設定ができます。バスチャンネルで設定した内容と連動して表示を行います。
- マトリクスチャンネルへのセンド位置を設定する [PRE] スイッチはマトリクスチャンネルごとに一括で切り替わります。

メインLRアサインスイッチ



- ①. **メインLRスイッチ [LR]**
[MAIN LR] スイッチをタップすると入力チャンネルのMAIN LRへのアサインを切り替えます。
橙色 : ON
灰色 : OFF

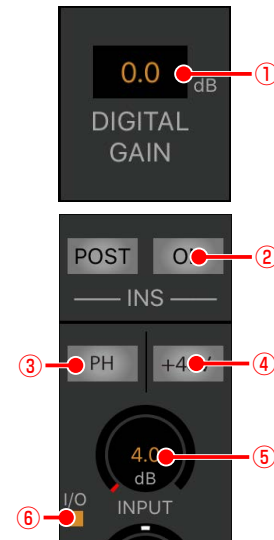
パッチ表示部



- ①. **パッチ設定表示 [PATCH]**
選択中の入力チャンネルに設定されているパッチを表示します。

入力パラメーター設定部

インプットチャンネルに対してデジタルゲインなどのパラメーター設定を行います。



- ①. **デジタルゲイン表示**
デジタルゲインの設定値を表示します。
タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、センドレベルを調節することができます。
設定範囲 : -24.0 dB~24.0 dB (0.5 dB刻み)
- ②. **インサーション設定 [POST] [ON]**
インサートの設定を行うことができます。
[ON] スイッチをタップすると点灯し、インサーション機能を有効にできます。もう一度押しと「OFF」で無効にできます。
橙色 : ON
灰色 : OFF
[POST] スイッチをタップすると点灯し、インサーションの位置がポストフェーダーになります。もう一度押しと消灯し、インサーションの位置がプリフェーダーになります。
橙色 : ポストフェーダー
灰色 : プリフェーダー



- インサーションの位置を変更した際、設定していたインサーション機能は「OFF」となります。
- 本体の「パッチ設定」画面にて、インサーション機能を有効にしたチャンネルにのみ表示されます。

- ③. **フェイズスイッチ**
フェイズ（位相反転）のON/OFFを切り替えます。ステレオインプットではLch、Rch個別に設定します。
橙色 : ON
灰色 : OFF
- ④. **ファンタム電源スイッチ**
ファンタム電源のON/OFFを切り替えます。ファンタム電源が必要なマイクが接続されているときに設定します。ステレオインプットでは、Lch、Rch個別に設定します。
橙色 : ON
灰色 : OFF

基本操作

⑤. インプットトリム表示

接続された入力レベルを調節するためのインプットトリムの設定値を表示します。

タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、センドレベルを調節することができます。ステレオインプットでは、Lch、Rch個別に設定します。

⑥. I/Oボックス状態表示

ファンタム電源スイッチとインプットトリムについて、本体とI/Oボックスのどちらを制御しているかを表示します。

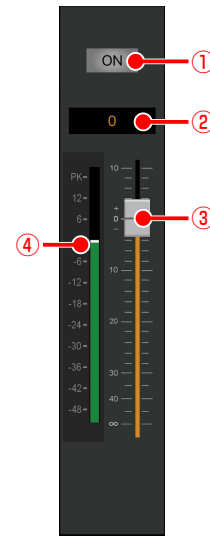
黒色(消灯) : 本体の制御
橙色 : I/Oボックスの制御
赤色 : 通信エラー発生



- 本体でI/Oボックスの制御を行う設定の場合に、通信エラーが発生すると赤色で点灯します。
- 本体でアナログインプットもしくはI/Oボックスがパッチ設定されていない場合、ファンタム電源スイッチ、インプットトリム表示、I/Oボックス状態表示は行いません。

フェーダー設定部

チャンネルのフェーダーレベルを調節します。



①. チャンネルスイッチ

チャンネルの音声出力のON/OFFを切り替えます。

赤色 : ON
灰色 : OFF

②. フェーダーレベル値表示

フェーダーレベルを表示します。

タップするとパラメーター調整ガイドが表示され、フェーダーレベルを調節することができます。

③. フェーダー

フェーダーをドラッグして出力音量を調整します。フェーダーレベルに合わせてフェーダーレベル値表示にフェーダーレベル値が表示されます。

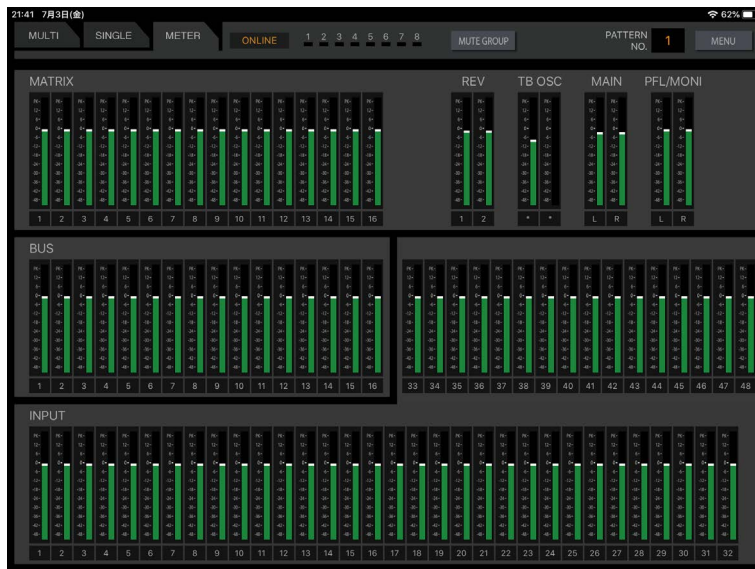
設定範囲 : Inf、-138 dB ~ +10 dB

④. レベルメーター

接続された本体の音声信号のレベルをリアルタイムに表示します。

メーター画面

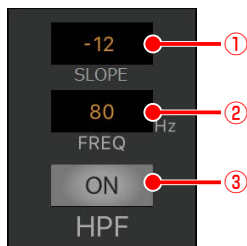
全チャンネルのレベルメーターを表示する画面です。画面切替タブの [METER] タブをタップすると「メーター」画面が表示されます。



信号処理機能の設定

HPF（ハイパスフィルター）の設定

ここではHPFを調節する方法について説明します。HPF（ハイパスフィルター）のON/OFFとスロープ、カットオフ周波数を調節できます。HPFはインプットチャンネル選択時に表示されます。



- ①. HPF SLOPE設定 [SLOPE]
HPFのスロープを選択することができます。スロープの種類は以下から選択することができます。

SLOPE	スロープ
-6	-6 dB/oct
-12	-12 dB/oct
-18	-18 dB/oct
-24	-24 dB/oct

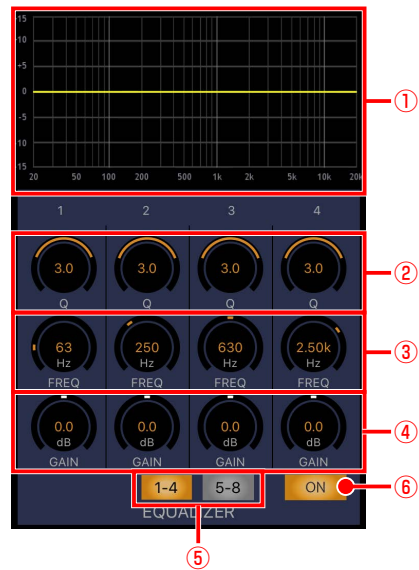
- ②. HPFカットオフ周波数表示 [Hz] [FREQ]
HPFのカットオフ周波数を表示します。現在の設定が数値で表示されます。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、カットオフ周波数を調節することができます。
設定範囲 : 20 Hz~1.8 kHz
- ③. HPFスイッチ [HPF]
HPFのON/OFFを切り替えます。
 橙色 : ON
 灰色 : OFF

イコライザー（PEQ）の設定

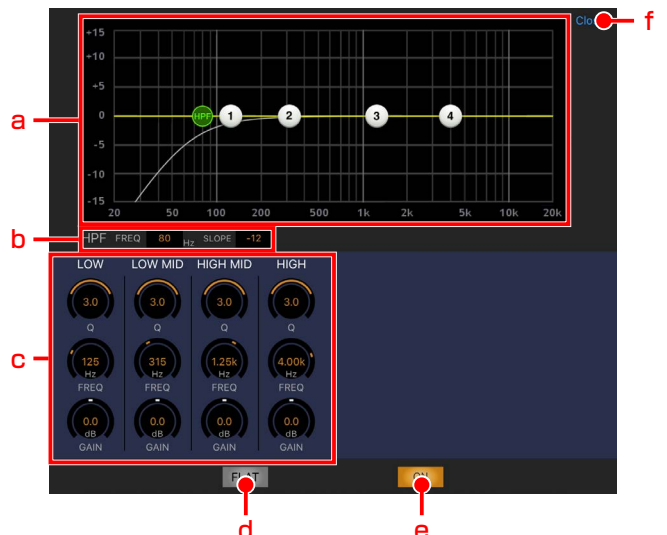
ここでは、PEQ（パラメトリックイコライザー）を調節する方法について説明します。PEQは以下の場所で設定することができます。

設定可能チャンネル

- 4Band PEQ : インプットチャンネル、リバーブチャンネル、バスチャンネル、メインチャンネル
 8Band PEQ : マトリクスチャンネル



- ①. イコライザーグラフ
現在のイコライザー（PEQ）の状態が周波数特性グラフで表示されます。HPFがONのときはハイパスフィルターの周波数特性もグラフ表示されます。イコライザースイッチがONのとき、イコライザーの周波数特性を黄色線で表示します。イコライザースイッチがOFFのとき、イコライザーの周波数特性を白色線で表示します。グラフエリアをタップすると、以下のようにタッチ操作で設定を行う画面を表示します。



- a. **HPF・EQグラフ [HPF] [1] [2] [3] [4]**
[HPF]、[1]、[2]、[3]、[4]の各EQパラメータをドラッグしてPEQの設定を行うことができます。
 - b. **HPF設定 [FREQ] [TYPE]**
HPFのカットオフ周波数およびフィルターのスロープを設定することができます。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、設定値を調節することができます。
 - c. **PEQ設定 [Q] [FREQ] [GAIN]**
タップ操作に応じて、各設定値を表示します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、設定値を調節することができます。
 - d. **フラットスイッチ [FLAT]**
イコライザーのゲインレベルを一括して0 dBにすることができます。
[FLAT]のスイッチをタップすると、確認の[OK?]スイッチが表示されます。[OK?]スイッチをタップするとゲインレベルを一括して0 dBにします。[OK?]スイッチが表示されているときに[FLAT]スイッチをタップするとキャンセルすることができます。
 - e. **イコライザースイッチ [ON]**
イコライザーのON/OFFを切り替えます。
橙色 : ON
灰色 : OFF
 - f. **Closeスイッチ [Close]**
「タッチ操作設定」画面を閉じます。
- ②. **Q設定ノブ [Q]**
イコライザーのQを調節します。
タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、Qを調節することができます。設定値がノブ中央に表示されます。
設定範囲 : SHL、SHH、0.3~30
※SHL : Band1のみ設定可能
SHH : 4Band PEQのHIGH、8Band PEQのBand8のみ設定可能
 - ③. **周波数調節ノブ [FREQ]**
イコライザーの周波数を調節します。
タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、周波数を調節することができます。設定値がノブ中央に表示されます。
設定範囲 : 20 Hz~20 kHz (1/48 Oct刻み)
 - ④. **ゲイン調節ノブ [GAIN]**
イコライザーのゲインを調節します。
タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、ゲイン値を調節することができます。設定値がノブ中央に表示されます。
設定範囲 : -15 dB~+15 dB (0.5 dB刻み)
 - ⑤. **イコライザーバンド選択スイッチ [1-4] [5-8]**
8Band PEQで表示するイコライザーをBand1~4、Band5~8から選択します。選択しているBandのスイッチが橙色に点灯します。8Band PEQのときに表示されます。
 - ⑥. **イコライザースイッチ [ON]**
イコライザーのON/OFFを切り替えます。
橙色 : ON
灰色 : OFF

イコライザー (GEQ) の設定

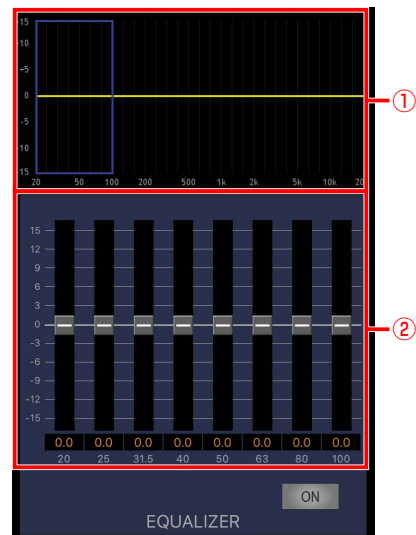
ここでは、GEQ (グラフィックイコライザー) を調節する方法について説明します。

GEQは31Bandのグラフィックイコライザーです。マトリクスチャンネルはPEQとGEQを切り替えることができ、切り替えは本体あるいはPC用リモートソフトで設定します。



- PEQとGEQの切り替えについては本体あるいはPC用リモートソフトの取扱説明書を参照してください。

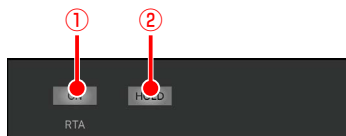
「シングルチャンネル」画面でGEQ設定されたチャンネルを表示すると、イコライザー設定部は次の様に表示されます。



- ①. **GEQグラフ**
現在のイコライザー (GEQ) の状態が周波数特性グラフで表示されます。GEQゲイン設定で表示されている周波数範囲に青枠が表示されます。
- ②. **GEQゲイン設定 [20] ~ [20k] [OUT]**
イコライザーのゲインを調節します。設定部を左右にスワイプしてGEQゲイン設定を行う周波数を切り替えます。
フェーダーを上下にドラッグすることで、ゲイン値を調節することができます。
設定範囲 : -15 dB~+15 dB (0.5 dB刻み)

RTAの設定

ここでは、リアルタイムアナライザーの設定を行う方法について説明します。



①. RTA ONスイッチ [ON]

RTA (リアルタイムアナライザー) のON/OFFを切り替えます。

RTAはiPad内蔵マイクに入力された音声の音圧を周波数ごとにリアルタイム表示する機能です。RTAはイコライザーグラフに重ねて白色でバー表示します。

橙色 : ON
灰色 : OFF

②. RTA HOLDスイッチ [HOLD]

RTA (リアルタイムアナライザー) のHOLD ON/OFFを切り替えます。

イコライザーグラフに重ねてRTAのピーク値を赤色でバー表示します。

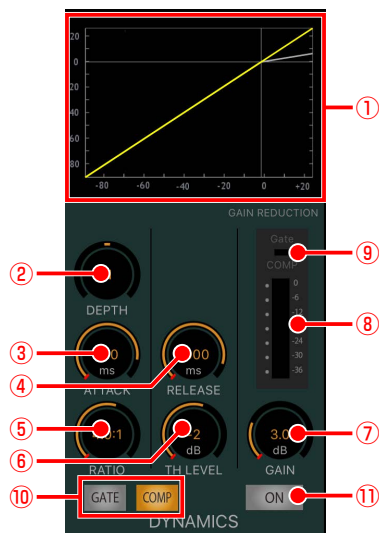
橙色 : ON
灰色 : OFF

ダイナミクス設定

ここでは、ダイナミクスを調節する方法について説明します。本機ではダイナミクスとして以下の機能を有しています。

コンプレッサー：一定レベル以上の音声信号を抑圧し、音量を調節します。

ゲート：一定レベル以下の音声信号を減衰します。



①. ダイナミクスグラフ

ダイナミクスの入出力特性を表示します。ダイナミクススイッチがONのとき、ダイナミクスの入出力特性を黄色線で表示します。ダイナミクススイッチがOFFのとき、ダイナミクスの入出力特性を白色線で表示します。

②. DEPTH調整ノブ [DEPTH] (COMPのみ)

ダイナミクス効果のかけ具合を調節します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、ゲイン値を調節することができます。設定範囲：S10~N~H10

DEPTH 値	推奨音源
N	標準的な設定です。どんな音源でも無難に使用できます。
S1 H1	ピアノ、オルガン、シンセサイザー等の鍵盤楽器に適した設定です。
S2 H2	アコースティックギター、エレキギターなどに適した設定です。
S3 H3	ナレーションに適した設定です。
S4 H4	カラオケなどのボーカルに適した設定です。
S5 H5	バスドラムやベースなど、低音楽器に適した設定です。
S6 H6	ドラムに適した設定です。シンバル、スネアドラムなどに個々にかけるよりは、ドラムセット全体としてかけたほうが効果的です。

基本操作

DEPTH 値	推奨音源
S7 H7	パーカッション類の楽器に適した設定です。
S8 H8	オーケストラ、プラスバンド、カラオケの伴奏などに適した設定です。
S9 H9	銃声や爆発音などの効果音 (SE) に適した設定です。
S10 H10	子供の声など、抑揚の大きな声に適した設定です。



- DEPTH値を変更した場合は、その値に合わせてスレッシュホールドレベル、レシオ、アタックタイム、リリースタイム、アウトプットゲインが連動して変化します。
- スレッシュホールドレベル、レシオ、アタックタイム、リリースタイム、アウトプットゲインをマニュアルで変更した場合はDEPTHの表示ボックスにピリオド (.) が表示されます。

③. アタックタイム調整ノブ [ATTACK]

ダイナミクスの効果がかかり始めるまでの時間を調節します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、ゲイン値を調節することができます。

設定範囲 : 0 ms~250 ms

④. リリース調整ノブ [RELEASE]

ダイナミクスの効果を終わらせるまでの時間を調節します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、ゲイン値を調節することができます。

設定範囲 : 5 ms~2000 ms (31段階)

⑤. レシオ調整ノブ [RATIO] (COMPのみ)

ダイナミクスの圧縮比を調節します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、設定値を調節することができます。

設定範囲 : 1.0~inf (1.0 : 1~inf : 1)

⑥. スレッシュホールド調整ノブ [TH LEVEL]

コンプレッサーのスレッシュホールドレベル (圧縮の効果がかかり始める音量) を調節します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、設定値を調節することができます。

設定範囲 : COMP 24 dB~-36 dB
GATE OFF, -90 dB~-40 dB

⑦. アウトプットゲイン調整ノブ [GAIN]

コンプレッサーのゲイン値を調節できます。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、ゲイン値を調節することができます。

設定範囲 : 0.0 dB~12.0 dB

⑧. ゲインリダクションメーター [COMP]

コンプレッサーの効果により減衰した音量を表示します。コンプレッサー動作時は音声の減衰量を0dB位置を起点に下方向に橙色で表示します。

⑨. ゲート表示 [GATE]

ゲートの動作状態を表示します。

橙色 : ゲート動作中
黒色 : 動作していない

⑩. ゲート/コンプレッサー切り替えスイッチ [GATE] [COMP]

設定するダイナミクスを切り替えます。

2種類のダイナミクスを使用可能な、インプットチャンネルに表示されます。

橙色 : 選択状態
灰色 : 非選択状態

⑪. ダイナミクススイッチ [ON]

ダイナミクスのON/OFFを切り替えます。[ON] スイッチをタップするとON (点灯) になり、ダイナミクスを有効にできます。もう一度タップするとOFFで無効にできます。

橙色 : ON
灰色 : OFF

ダイナミックノッチの設定

ダイナミックノッチは運用中リアルタイムにハウリング周波数の検出を行い、その周波数にノッチフィルターをかけてハウリングを抑制する機能です。ハンドマイクなど環境が刻々変化する機器に対して有効です。

ダイナミックノッチはモノラル設定のインプットチャンネルに設定することができ、1～16チャンネルで8チャンネル、17～32チャンネルで8チャンネル、合計16チャンネルまで設定することができます。設定方法は本体の取扱説明書をお読みください。



①. ダイナミックノッチスイッチ [ON]

ダイナミックノッチのON/OFFを切り替えます。ONに設定するとハウリング検出動作を開始し、ハウリングを検出すると抑圧するためのノッチフィルターをかけます。設定をONからOFFに変更すると、ノッチフィルターの設定はクリアされます。

橙色 : ON
灰色 : OFF

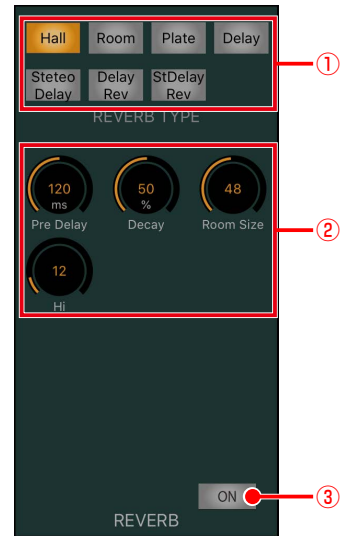
②. ハウリング検出状況表示

ダイナミックノッチ機能で設定されたノッチフィルターのパラメーター (Q、周波数、ゲイン) を表示します。

Q : ノッチフィルターのQ値を表示します。
FREQ : ノッチフィルターの中心周波数を表示します。
GAIN : ノッチフィルターの中心周波数での減衰量を表示します。

リバーブの設定

入力した音声に残響効果を与える機能です。



①. リバーブタイプスイッチ [REVERB TYPE] [Hall] [Room] [Plate] [Delay] [Stereo Delay] [Delay Rev] [StDelay Rev]

選択したいリバーブタイプのスイッチをタップしてONにすることで、リバーブタイプを選択することができます。スイッチは択一選択です。

・使用できるタイプには以下の7種類があります。

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| Hall | : ホールのような大きな空間の残響感です。 |
| Room | : 部屋の中のような残響感です。 |
| Plate | : 鉄板リバーブのようなブライトな残響感です。 |
| Delay | : モノラルのディレイです。 |
| Stereo Delay | : ステレオのディレイです。 |
| Delay Rev | : モノラルのディレイとリバーブが組み合わされたエフェクトです。 |
| StDelay Rev | : ステレオのディレイとリバーブが組み合わされたエフェクトです。 |

基本操作

②. パラメーター設定部 [Pre Delay] [Decay] [F.B] [Room Size] [Hi] [Time] [L Time] [R Time] [L F.B] [R F.B] [Rev Decay] [Rev Hi] [Echo Hi] [Echo Time] [Dly/Rev BAL]

リバーブ/ディレイの設定値を表示します。タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、設定値を調節することができます。

ノブ名称	機能	表示タイプ
Pre Delay	リバーブの初期反射到達時間を調整します。	Hall、Room、Plate、DelayRev、STDelayRev
Decay	リバーブの減衰の早さを調整します。	Hall、Room、Plate
F.B	ディレイの減衰の早さを調整します。	Delay、DelayRev
Room Size	リバーブで模擬する部屋の大きさを調整します。	Hall、Room、Plate、DelayRev、STDelayRev
Hi	高音域の減衰を調整します。	Hall、Room、Plate、Delay、StereoDelay
Time	ディレイの繰り返しの早さを調整します。	Delay
L Time	ステレオディレイのLchの繰り返しの早さを調整します。	StereoDelay、STDelayRev
R Time	ステレオディレイのRchの繰り返しの早さを調整します。	StereoDelay、STDelayRev
L F.B	ステレオディレイのLchの減衰の早さを調整します。	StereoDelay、STDelayRev
R F.B	ステレオディレイのRchの減衰の早さを調整します。	StereoDelay、STDelayRev
Rev Decay	リバーブの減衰の早さを調整します。	DelayRev、STDelayRev
Rev Hi	リバーブの高音域の減衰を調整します。	DelayRev、STDelayRev
Echo Hi	エコーの高音域の減衰を調整します。	DelayRev、STDelayRev
Echo Time	エコーの繰り返しの早さを調整します。	DelayRev
Dly/Rev BAL	ディレイとリバーブのバランスを調整します。	DelayRev、STDelayRev

③. リバーブスイッチ [ON]

リバーブのON/OFFを切り替えます。

橙色 : ON
灰色 : OFF

ディレイの設定

信号出力を一定時間遅延させ、スピーカー間の位相合わせや音の方向間制御などを行う機能です



- ①. **ディレイスイッチ [ON]**
ディレイのON/OFFを切り替えます。
橙色 : ON
灰色 : OFF
- ②. **ディレイタイム表示**
ディレイタイムを表示します。
タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、ディレイタイムを調節することができます。
設定範囲 : 0.00 ms (0.000m)
 ~1000 ms (340.00 m)
 (20.8 μ s/7.07 mm step)



- ディレイタイムの単位は本体側の設定に合わせて変更されます。設定については本体の取扱説明書をお読みください。

PAN/BALの設定

ステレオバスに送出するときの定位を調節します。モノラル入力では一つの音を分配するPAN（パンポット）、ステレオ入力では左右の入力に対して片方の入力を固定したままもう片方の入力を減衰させるBAL（バランス）となります。



- ①. **PAN/BALノブ [PAN] [BAL]**
チャンネルのパンレベル（ステレオチャンネルのときはバランスレベル）を表示します。
タップまたはロングタップするとパラメーター調整ガイドが表示され、PAN/BALのパラメーターを調節することができます。
設定範囲 : L16~C~R16

応用操作

メニュー画面

「メニュー」画面は、設定値の保存／読み込みや、アプリケーションの設定、本体との接続を行うサブ画面を表示させるための画面です。[MENU] スイッチをタップすると「メニュー」画面が表示されます。下記が「メニュー」画面の一覧です。



No.	項目	機能概要	参照ページ
1	パターンメモリーリード	登録したパターンメモリーを呼び出し、現在の設定に反映させるための画面です。	39
2	パターンメモリーライト	パターンメモリーに、現在の設定値を登録するため画面です。	38
3	オンライン	本体と接続をするための画面です。	10
4	オフライン (デモ操作)	本体と接続せず使用するための画面です。また、オンラインモード動作中は本体との接続を解除することもできます。	10
5	アプリケーション設定	「アプリケーション設定」画面を表示します。 この画面により、起動方法／オペレーションロック／レイヤーカスタマイズ／パスコードの設定／認証設定を行えます。	41
6	このアプリケーションについて	このアプリケーションについて説明を行う画面です。 この画面は、本ソフトウェアのバージョン情報と著作権表示を表示します。オンラインモードでは接続中の本体のバージョン情報を表示します。	—

パターンメモリの活用

パターンメモリとは、フェーダー、チャンネルON/OFF、イコライザー、マトリクスON/OFFなどの各種パラメーター値をミキサーの運用環境パターンとして登録するものです。パターンメモリに登録した情報は、本体の電源を「OFF」にしても消去されません。登録したパターンメモリは簡単な操作で呼び出すことができます。パターンメモリは、96パターンまで登録できます。



- パターンメモリの書き込み/呼び出しはオンラインモードのみ操作可能です。

パターンを書き込む

現在の設定をパターンに登録します。パターンの登録は次の手順で行います。

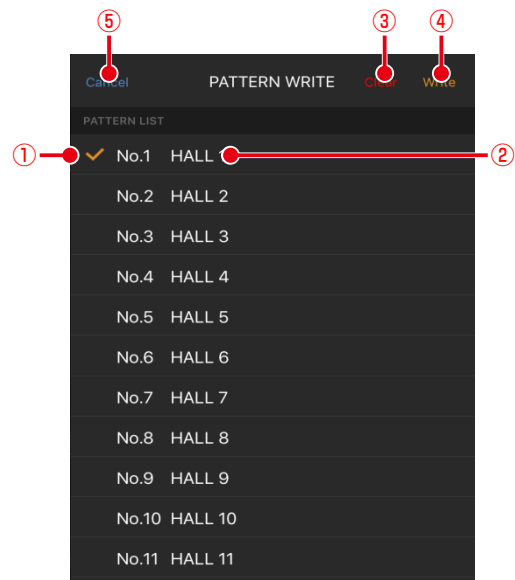
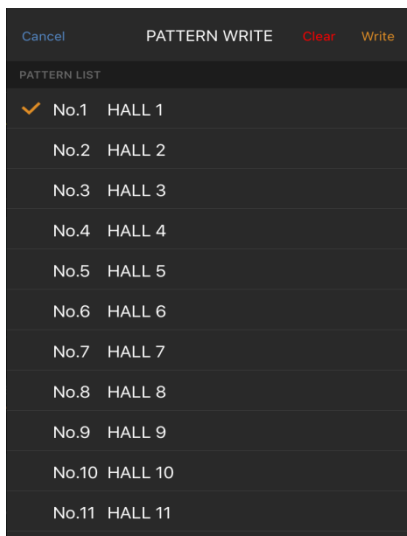
「パターンメモリーライト」画面各部の名前とはたらきは次のとおりです。

1 [MENU] スイッチをタップします。

「メニュー」画面が表示されます。

2 画面の [パターンメモリーライト] をタップします。

「パターンメモリーライト」画面が表示されます。



3 書き込みを行うパターン番号 (1~96) をタップします。

タップした番号のパターンが選択されます。

4 [Write] スイッチをタップします。

選択したパターン番号に、カレントデータを登録する「確認」画面が表示されます。



5 [OK] スイッチをタップします。

パターンの書き込みが実行されます。

- ①. **パターン番号**
パターンを選択します。
- ②. **パターン名称**
パターンの名称を表示します。パターン名称はPC用リモートソフトで設定します。
- ③. **Clearスイッチ [Clear]**
選択されているパターン番号のデータを消去し、工場出荷時の設定に戻します。本スイッチをタップすると「確認」画面が表示され、[OK] スイッチをタップすると消去が実行されます。
- ④. **Writeスイッチ [Write]**
選択された番号にパターンを登録します。
- ⑤. **Cancelスイッチ [Cancel]**
「パターンメモリーライト」画面を閉じます。

パターンを呼び出す

登録したパターンを呼び出し、現在の設定に反映します。
パターンメモリーを呼び出すときは次の手順で行います。

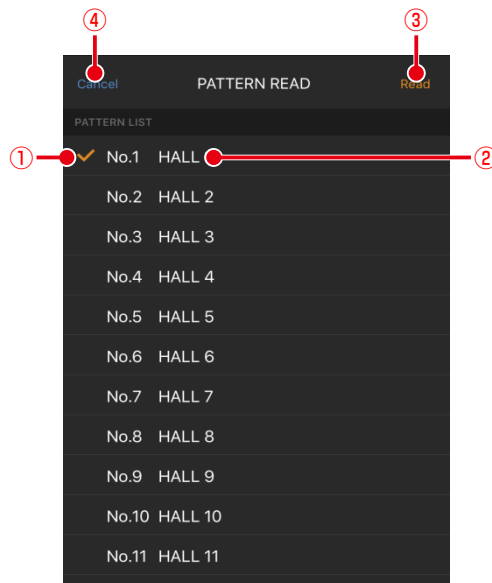
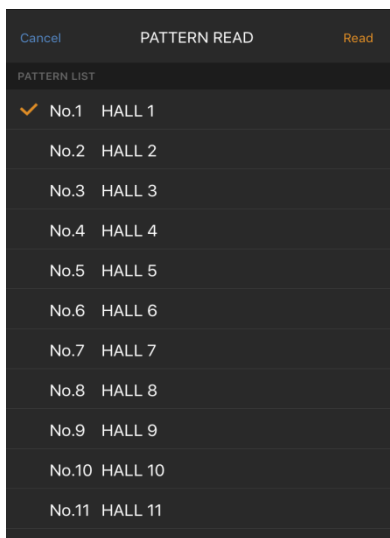
「パターンメモリーリード」画面各部の名前とはたらきは次のとおりです。

1 [MENU] スイッチをタップします。

「メニュー」画面が表示されます。

2 画面の [パターンメモリーリード] をタップします。

「パターンメモリーリード」画面が表示されます。



- ①. **パターン番号スイッチ**
パターンを選択します。
- ②. **パターン名称**
パターンの名称を表示します。パターン名称はPC用リモートソフトで設定します。
- ③. **Readスイッチ [Read]**
選択された番号のパターンを呼び出します。
- ④. **Cancelスイッチ [Cancel]**
「パターンメモリーリード」画面を閉じます。



- 「メイン」画面のパターン番号表示をタップしても「パターンメモリーリード」画面が表示されます。

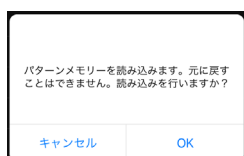


3 呼び出しを行うパターン番号スイッチ (1～96) をタップします。

タップした番号のパターンが選択されます。

4 [Read] スイッチをタップします。

選択したパターン番号の登録データを呼び出す「確認」画面が表示されます。



5 [OK] スイッチをタップします。

パターンの呼び出しが実行されます。

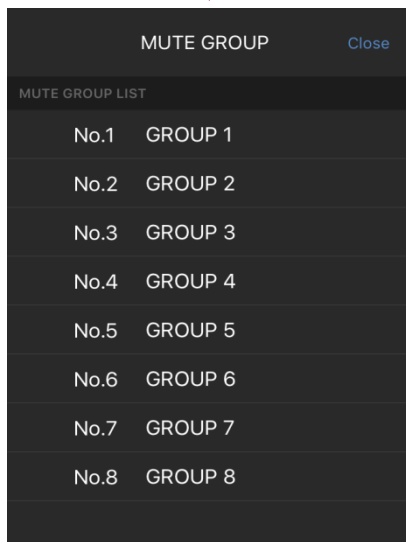
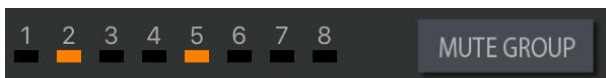
ミュートグループの活用

ここではミュートグループについて説明します。
ミュートグループはグルーピングされた入力チャンネルのチャンネルスイッチをまとめてミュートできます。
本ソフトウェアでは、ミュートグループ実行のみができます。ミュートグループの設定は、本体またはPC用リモートソフトで行います。

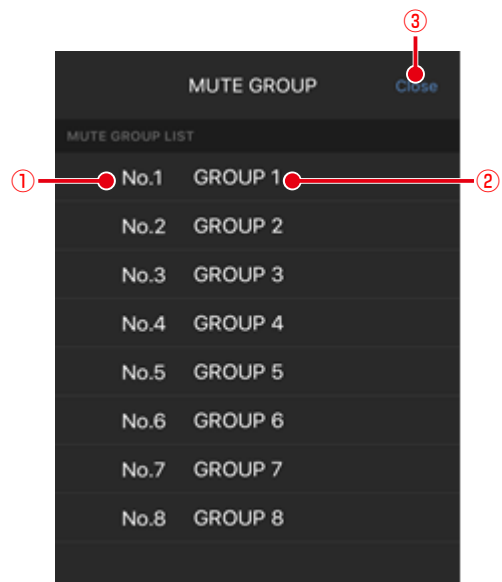
複数の入力チャンネルをミュートする (ミュートグループ)

1 [MUTE GROUP] スイッチをタップします。

「ミュートグループ」画面が表示されます。



「ミュートグループ」画面各部の名前とはたらきは次のとおりです。



- ①. **ミュートグループ番号スイッチ**
ミュートグループを選択します。
- ②. **ミュートグループ名称**
ミュートグループの名称を表示します。ミュートグループ名称はPC用リモートソフトで設定します。
- ③. **Closeスイッチ [Close]**
「ミュートグループ」画面を閉じます

2 ミュートを実行する番号のミュートグループ番号をタップします。

タップしたミュートグループ番号の横にチェックマーク (☑) が表示されます。
再び同じ番号のミュートグループ実行スイッチをタップするとミュートが解除されます。
ミュートの実行状態によって、所属する入力チャンネルのチャンネルスイッチ状態が変化します。
橙色 : ON (ミュート中)
灰色 : OFF

3 [Close] スイッチをタップします。

「ミュートグループ」画面が閉じます。



- マニュアル設定されている入力チャンネルはミュートグループの影響を受けません。

アプリケーション設定

アプリケーション設定では、起動方法、オペレーションロック、レイヤーカスタマイズ、パスコード、認証の設定を行います。「アプリケーション設定」画面は、「メニュー」画面の「アプリケーション設定」をタップすると表示されます。



①. 設定項目選択部

設定を行う項目を選択します
各設定項目で、次の設定を行うことができます。

設定項目	設定内容
起動方法	本体の起動方法を設定します。
オペレーションロック	画面内の操作を禁止する設定を行うことができます。
レイヤーカスタマイズ	「マルチチャンネル」画面に表示するチャンネルをカスタマイズすることができます。
パスコード	「アプリケーション設定」画面を表示するときのパスコードを設定します。
認証設定	本体のパスワードを変更することができます。

②. 項目設定部

設定項目選択部で選択した項目に関する設定を行います。

③. OKスイッチ [OK]

「アプリケーション設定」画面で設定した項目を確認します。
[OK] スイッチのタップは、すべての項目設定後で構いません。

④. キャンセルスイッチ [Cancel]

「アプリケーション設定」画面で設定した項目をキャンセルします。

起動方法

ここでは、本ソフトウェアの起動時の動作を設定します。

起動時に選択 : 起動時に、「オンライン」画面の操作により、接続する本体を選択します。

Mixer1 : 起動時に自動的に登録番号1の本体に接続します。

Mixer2 : 起動時に自動的に登録番号2の本体に接続します。

Mixer3 : 起動時に自動的に登録番号3の本体に接続します。

Mixer4 : 起動時に自動的に登録番号4の本体に接続します。

Mixer5 : 起動時に自動的に登録番号5の本体に接続します。

初期設定 : 起動時に選択



- ミキサーの登録がされていない場合は、「起動時に選択」で起動します。
 - 登録番号は、「ミキサー選択」画面（12ページ）にて設定します。
-

オペレーションロック

ここでは、各画面の操作を禁止する設定を行います。操作が禁止された場合、画面の表示はできますが、設定を行うことはできません。

①. 「シングルチャンネル」画面

OFF : 「シングルチャンネル」画面内の操作を許可する。

ON : 「シングルチャンネル」画面内の操作を禁止する。

初期設定 : OFF

②. 「マルチチャンネル」画面

OFF : 「マルチチャンネル」画面内の操作を許可する。

ON : 「マルチチャンネル」画面内の操作を禁止する。

初期設定 : OFF

レイヤーカスタマイズ

ここでは、「マルチチャンネル」画面に表示するレイヤー選択スイッチについて設定します。レイヤー表示の切り替えにより、レイヤー選択スイッチの表示有無の設定を行います。また、レイヤーカスタマイズはミキサー1～5の本体5台分の登録することができます。ミキサー1～5は「ミキサー選択」画面で登録した本体の登録番号に対応します。以下は、1台分の設定内容となります。



①. 機種

本体の機種名を表示します。

②. IPアドレス

本体のIPアドレスを表示します。

③. レイヤー表示スイッチ

各レイヤーに対してレイヤー選択スイッチ領域への表示設定を行います。表示部を上下にスワイプすることでレイヤー選択スイッチを表示します。

- OFF : レイヤー選択スイッチを表示しない。
- ON : レイヤー選択スイッチを表示する。

パスコード設定

ここでは、パスコードの設定ができます。パスコードの使用設定をONに設定すると、「メニュー」画面でアプリケーション設定を選択したときにパスコード入力促す画面を表示します。

①. パスコードの使用設定

- OFF : パスコードを無効
- ON : パスコードを有効

パスコードの使用をOFFからONに設定すると「パスコード設定」画面が表示されます。パスコードは4桁の数字を設定します。

②. パスコードの変更

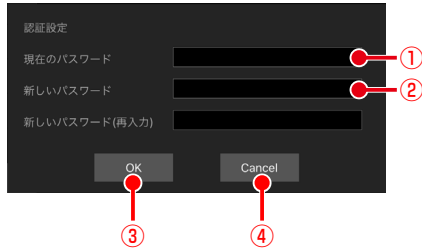
パスコードの使用設定がONのとき、パスコードを変更することができます。[パスコードの変更]をタップすると「パスコード設定」画面が表示されます。



- パスコードを忘れた場合、アプリケーションの再インストールを行うことで、パスコードをリセットすることが可能です。

認証設定

ここでは、本体のパスワードの設定ができます。本体と本ソフトウェアの認証を行うためのパスワードです。
認証設定の変更をタップすると以下の画面が表示されます。



- ①. **現在のパスワード**
初期接続時に設定したパスワードを入力します。
- ②. **新しいパスワード**
本体のパスワードを変更する場合に入力します。パスワードは大文字、小文字、数字、記号から8文字以上、16文字以下で3種類以上の組み合わせで設定してください。
- ③. **OKスイッチ [OK]**
パスワードを正しく設定している場合、パスワードの変更を行います。
- ④. **キャンセルスイッチ [Cancel]**
「認証設定」画面を閉じます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。


これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
本ソフトウェアから本体にアクセスできない	● iPadのWi-Fi設定は「ON」になっていますか？ → iPadのWi-Fi設定を確認してください。	—
	● Wi-Fiルーターと接続できていますか？ → iPadがネットワークに接続されていることを確認してください。	—
	● 本体の電源は入っていますか？ → 本体の電源が入っていることを確認してください。	取扱説明書 基本操作編
	● 本体に既に2台のリモートソフト（PC用、iPad用）が接続されていませんか？ → 本体に同時に接続できるリモートソフトは2台です。	—
	● 本体とiPadは同一ネットワーク上に接続されていますか？ → 本体およびiPadのネットワーク設定を確認してください。	8
	● 本体のIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本体のIPアドレスを他の機器と重複しないように設定してください。	8
	● 本体のREMOTE設定が「DISABLE」に設定されていませんか？ → 本ソフトウェアやPC用リモートソフトから本体にアクセスするには本体のREMOTE設定を「CONTROL」あるいは「MONITOR ONLY」に設定してください。	取扱説明書 基本操作編
	● 認証設定のパスワードは合っていますか？ → パスワードは初回接続時に設定したものに なります。	10
本ソフトウェアから本体の操作を行うことができない	● オフラインモードになっていませんか？ → 本体を制御するにはオンラインモードにする必要があります。	10
	● オペレーションロックの設定が有効になっていませんか？ → オペレーションロックの設定を確認してください。	42
	● 本体のユーザーレベルが「エンジニア」か「オペレーター」に設定されていませんか？ → 「エンジニア」か「オペレーター」に設定されている場合、設定によっては操作できる内容が制限されます。	取扱説明書 基本操作編
	● 本体のREMOTE設定が「MONITOR ONLY」に設定されていませんか？ → 本ソフトウェアやiPadから本体を制御するには本体のREMOTE設定を「CONTROL」に設定してください。	取扱説明書 基本操作編
本体の登録で本体が自動検索されない	● 本体の自動検索は本体が起動してから20分間のみ検出できます。 → 本体の電源を入れ直してから、自動検索を行ってください。	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話からのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号